

患者の皆様へ

2022 年 3 月 14 日

千葉大学医学部附属病院 乳腺甲状腺外科

現在、乳腺甲状腺外科では、「乳癌における後ろ向き解析による治療決定因子および予後因子の解明に向けた研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2005 年から 2021 年 12 月までの間に乳癌と診断された患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「 乳癌における後ろ向き解析による治療決定因子および予後因子の解明に向けた研究 」

2. 研究の意義・目的 「 乳癌において治療を決めるのに有用な項目また生存期間に関係する項目はなんであるか、をこれまで当院で治療を受けた患者さんの情報より解析します。これにより不要な治療は省略したり生存期間をより長くする方法を解明し将来の患者さんの治療成績を向上させることに応用します。 」

3. 研究の方法 2005 年から 2021 年までに当院において乳癌に対して治療が行われた患者様の治療経過、乳癌の病理学的診断、内分泌治療の有無とその内容、化学療法の有無とその内容、放射線治療の有無などを調べ、それぞれの治療法や関連項目で生存期間に影響を与えていたかを確認します。そして、どのような項目が生存期間に最も関連していたのかを調査します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 乳腺甲状腺外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院乳腺甲状腺外科

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

医師 大塚将之 , 藤本浩司

043 (222) 7171 内線 5282 (臓器制御外科学 医局)